

## 活動報告

団体名	揖西北まちづくり協議会
活動名	生活再建に取り組んでいる豪雨水害被災者を活気づけるための炊き出し支援活動
活動期間	2018年10月～2019年3月
活動の成果	<p>被災から3か月経った10月ごろになると、被災者は当初の家の片付けや掃除、諸手続き、引っ越しなどのしなければいけないことなどが少し落ち着いて、我に戻って「亡失感」に襲われたり、近所の親しかった人たちのことが気になったりする時期でもあった。</p> <p>それぞれの仮設やみなし仮設、親せき宅などバラバラになったコミュニティであるが、以前の地域にみんなが戻るのはまだまだ先の話である。そんな時、定期的に以前の近所の人に会い、情報交換や今後の相談など、集まっておしゃべりする場所が必要とされる。</p> <p>そんな場所や時間、ほっこりするようなご飯を提供したいと思い、活動を続けている。毎月同じ場所で開催することで、「また待ってるよ」と期待もされ、逆に我々も元気をもらったりもする。また、おひとりで来られる方は、とにかく話を聞いてもらいたいという感じの方が多く、我々も時間のある限り、被災者の皆さんと向き合って、話をするよう心がけている。まだまだ復興していない家々や地域を目の当たりにして、できる活動はまだまだあり、自分たちができることを地道に続けて行きたいと思っている。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>今現在、災害より時間が経ち、報道が少なくなってきたこともあり、「炊き出し」や「サロン」といったボランティアが減ってきていて、訪問すると「とてもうれしい」と喜ばれます。</p> <p>そういう声を聞くと、やってよかった、来てよかったと心から思います。そんな活動ができるのも寄付していただいた皆様のおかげです、ありがとうございます。</p> <p>寄付いただいたお金は、大切に、有効に使わせていただきます。</p>

(活動のようす)

